



国際交流プラザ※で 世界と繋がろう！

気軽にお立ち寄りください♪

※かごしま県民交流センター 1 階

書籍の閲覧

国際交流や国際理解に関する書籍を取り揃えています。その他、留学や旅行に役立つパンフレットもご紹介します。



※ただし、図書の貸出は行っておりません

メッセージボード

国際交流を目的とした内容のメッセージを掲載・閲覧することができます。

イベント情報/語学教えます/語学教師募集！ etc.

掲載期間は1か月です。チラシの持ち込みもできますが、所定の様式もご紹介します。

まずは、事務所にてお手続きください。

国旗・民族衣装 貸出しサービス(有料)

当協会では、国際理解や国際交流に資するイベントや事業・学校での文化紹介に対して国旗・民族衣装の貸出しを行っております。



国や種類など
詳しくはこちら↑

民族衣装は21カ国・125 着！

国旗は 107カ国・地域！

(卓上旗もご紹介します)

貸出をご希望の団体は、当協会の申込用紙でお申し込み下さい。※個人や国際理解・国際交流目的以外での使用には貸出できません。

その他詳細は、当協会までお問合せください。

【各種問合せ先】公益財団法人鹿児島県国際交流協会 099-221-6620

協会ホームページでは色々なイベントをお知らせしています。
ぜひご覧ください♪

鹿児島県国際交流協会



「Kagoshima で暮らして」

鹿児島県の在住外国人の数は、年々増加傾向にあります。『国際交流ひろば』では、鹿児島で頑張る在住外国人の鹿児島での暮らし等についてご紹介しています。

今回は、県内在住でアメリカご出身のクリストファー・リナルディさんをご紹介します。



クリスさんについて教えてください。

名前はクリストファー リナルディ ジョンです。出身はアメリカのニューヨークで、25年間生粋のニューヨーカーです。3人兄弟のいちばん下で、兄は2人ともニューヨークに住んでいます。現在、徳之島に来て一年四ヶ月ほどたちました。

徳之島に来たきっかけを教えてください。

ニューヨークに住んでいる時、一度だけ2週間ほど東京と京都と奈良に旅行にきました。きっかけは日本の音楽や小説に興味があり、日本に行ってみようと思ったからです。その時はあまり日本語が話せず、日本人とコミュニケーションが取れなかった悔しさから、今度は日本語をもっと勉強して、また日本に来てみたいと強く思いました。その強い思いのおかげで、ニューヨークの大学で国際交流の学科を卒業後、JETプログラムで国際交流員として徳之島に来ることができました。

日本語はどうやって勉強しましたか？

日本語を勉強したきっかけは日本語を覚えたいというよりは、好きな音楽や小説の原作を読んで理解したいという気持ちが大きかったからです。最初は赤ちゃんが言葉を覚えるように、日本語を読んだり聞いたりしてインプットすることをメインに勉強しました。村上春樹さんの小説が好きで、最初は英語版を読んでいたのですが、英語に翻訳されたものは村上さんの言葉ではなくこの本を翻訳している人の言葉を読んでいるように思え、村上春樹さん本人の日本語の言葉を直接読んで理解したいと思うようになり日本語をたくさん勉強しました。



村上春樹さんの小説はどの作品が一番好きですか？

一番好きな小説は村上春樹さんの処女作である「風の歌を聴け」です。芥川賞の候補にも入っていた作品です。他にも色々な作家の処女作を読むことが好きです。本格的な作家になると、面白い小説を書こうとするけど、処女作はその作家の頭の中にある何かを書こうとしている感じがするので好きでよく読んでいます。

ニューヨークという大都会から徳之島に着て思ったことを教えてください。

驚いたことは言い切れないほどたくさんありますね。徳之島の海のきれいさには驚きました。ニューヨークにも海がありますが、透明度はまったくゼロです。25年間茶色の海しか見たことなかったのがびっくりしましたね。あと、ゴミが全然落ちていません。徳之島の人のごみが一つでも砂浜に落ちていたら、「大変だ!」といいますが、それは僕から見ただけで全くきれいですよ(笑) ニューヨークの砂浜は砂浜と言えるかどうかで迷うくらいゴミが多いですからね。



徳之島に来てよかったことは何ですか？

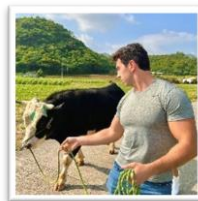
徳之島の人々は優しく、外国人ではなく島の人と同じように接してくれるので、疎外感やよそ者みたいな感じは全く無いです。

子供たちとのふれあいも良い経験です。島内を歩いていると子供たちが「わークリス先生だ!」といわれることがあり嬉しいです。徳之島の子供もたちは素直で外国人に対する偏見が全くないと感じます。以前、「クリス先生はなんで徳之島にお母さんがいないの?」と聞かれたこともあり、別の国で生まれたということを知らない子供もいました。

以前「youは何しに日本へ」に出演されていましたが反響はどうでしたか？

島の中でよく声をかけられるようになりました。ちょっと有名人です(笑) アメリカの家族にも動画を見せましたが、びっくりしていました。どういうところに住んでるの?これ本当に日本?とっていました。

番組の中で闘牛に挑戦していましたよね？



その当時、徳之島に来てまだ4か月で、闘牛の大会も2回しか見たことがなかったんですが、たまたまテレビ局からインタビューされたのがきっかけでした。かっこいい! やってみたいと思っていたのすごく良いタイミングでした。当時小学校6年生の子に牛の世話や勢子について教えてもらい、練習は一ヶ月だけでした。実際に勢子をした牛は若くて小さく、「この二頭の牛は割とおとなしい方なので、結構楽だと思いますよ」って言われていたのですが、実際は激しくて(笑) もう、やるしかない!と思い、思い切ってやりました。初心者だったので、牛につないだロープを持って勢子をしたんですが、本番は牛の動きが予想できないのがとても難しいと思いました。

クリスさんにとって徳之島の闘牛はどのような印象ですか？

島の人達は牛が負けたとき、みんな落ち込むんですよ。その代わり勝つと、そのあとの打ち上げがすごく盛り上がります。牛のことを本当に家族の一部みたいに思っている人が多いですね。まるで自分の息子がボクシング大会に出ている感じで応援するんです(笑)。勝った時はみんなと一緒にワイド!ワイド!と踊りをするのですが、それはもう本当にもう最高ですよ。その瞬間は本当の徳之島の人になったという感じがします。

徳之島での過ごし方について

時々職場の先輩と一緒に夜の海に潜って獲物を取りに行きます。十年前の自分は夜の海に入ることは想像できませんでした。夜の海は怖いんですね真っ暗。

徳之島住んでいる間はなんでもやってみたいし、誘われたら怖いと思って必ず行くと決めています。

お酒も飲みますよ。アメリカの時は「一年に5回ぐらい」しか飲んでいなかったのに、島に来て、「一週間に5回ぐらい」に回数が増えました。

徳之島の国際交流員としてどのような仕事をしていますか？

最近の仕事で自慢できることは、昨年8月に徳之島の高校生5人連れてニューヨークに行ったことです。徳之島で育ち東京にも行ったことがない子供たちに、ニューヨークという世界で一番大きい街を紹介することができました。マンハッタンでインターナショナルスクールに行き、そこで英語が母国語じゃない人と日本の学生たちが話をしました。また、現地では電車で移動をしたのですが、電車にもあまり乗ったことのない学生たちにとってはとてもインパクトのある経験だったようです。

今後徳之島で挑戦したいことはありますか？

昨年も見ましたが、冬のザトウクジラを見たいです。海に潜って初めてクジラを見た時、体長15mの動物と目が合って自分のことを見られてるような感じがして、本当に人生変わった!と思い泣きそうになりました。

あとはもっと素潜りが上手になりたいし、トライアスロンは一回全部一人でやってみたいです。昨年は水泳のパートだけ参加したんですよ。



クリスさんにとって徳之島とは？

「冬になってもあたたかい場所」です。それは気候の面でもそうですが、徳之島の人々は心も温かく優しいです。世界にはたくさん素晴らしい島がたくさんあると思いますが、徳之島の魅力は「人」だと思います。自分が徳之島に来られたことばっても贅沢なことだと思っています。

「かごしまから見える世界」vol.19

かつてから外国との交流が盛んだった鹿児島。鹿児島に居ながらにして世界を感じられる場所をご紹介します。今回は、始良市の山田の凱旋門と、蒲生町の韓国桜をご紹介します。

「日露戦争の凱旋門」

〔日清戦争の三国干渉〕

前回、明治維新の陰の立て役者「濱崎太平次」を紹介したが、維新後の日本はまだ脆弱で、海外列強に翻弄されることも多かった。

明治政府成立後、日本は列強との不平等条約の改正や国家保全のため、徴兵制の導入や軍備拡張、殖産興業の振興など富国強兵政策に邁進していく。その中で、当時、李氏朝鮮への宗主権を主張していた中国・清国との間に日清戦争が勃発する。戦後、下関講和条約を締結し、日本帝国は、台湾や遼東半島等を割譲され、巨額の賠償金も獲得したが、直後の三国干渉（フランス、ドイツ帝国、ロシア帝国）により遼東半島は手放すことになる。

〔そして日露戦争へ〕

日清戦争ののち、ロシア帝国の中国東北部（満州）や朝鮮半島方面への南下政策に脅威を感じた日本では、以前の三国干渉に対する強い反発や安全保障上の朝鮮半島確保を求めて世論は対露開戦論に大きく傾いていく。ついに一九〇四年二月、明治政府は宣戦布告の後、ロシア帝国との戦争に突入する。この戦争は翌年にかけて満州を中心に戦われ、旅順や奉天では数万の死傷者を出す激しい戦闘が行われた。

〔皇国ノ興廃此ノ一戦ニ在リ、各員一層奮勵努力セヨ〕

日露戦争後半になって、ロシア帝国は、遙かヨーロッパからバルチック艦隊をアジアに回航し、戦局の打開を図ろうとする。一方、持てる国力を遥かに超える戦費と人員、資産を投じている日本側も、この艦隊決戦に負けることはすなわち、満州の友軍への補給の途絶・日露戦争の敗北・日本国の滅亡へと繋がり、まさに「皇国ノ興廃此ノ一戦ニ在リ」の海戦となった。この訓令を発したのは東郷平八郎連合艦隊司令長官。明治三十八年五月二十七日に對馬東方沖海域で行われた艦隊決戦において、ウラジオストク港を目指すバルチック艦隊を連合艦隊が迎撃する形となり、あの有名な敵前大回頭（東郷ターン）によりバルチック艦隊を壊滅させる。その結果、ロシアは早期に形勢逆転を起す手段が無くなり、日本との講和交渉を受け入れることとなった。

〔爆発する喜び〕

「日本が大国ロシアに勝った！」世界中が驚いた。戦争遂行のために厳しい倅約と耐乏を強いられた国民の喜びも爆発する。帰還してくる兵士を迎えるための凱旋門が全国各地に建てられ、記念祝賀会や凱旋式が盛大に行われた。鹿児島でもいづる通広馬場に高さ13m、幅9mと推測される2連アーチの側面を持つ大きな門が作られ、歩兵第四十五連隊が大勢の市民の歓呼のなか、堂々と凱旋している。

〔日本唯一の石造り凱旋門〕

日本各地の凱旋門は、完成を急ぐ必要もあり、その多くが木造でその後、殆ど失われている。いづるの門も木造漆喰塗り構造で、残念ながら太平洋戦争時の空襲で焼失したと言われている。その中で、始良市山田地区には今も威風堂々と立つ石造りの凱旋門が残っている。

高さ4.7m、幅4.9mで国登録有形文化財に指定されているこの門は、門柱に凝灰岩の石材十五段を組み上げ、橋梁部分は鹿児島が誇るアーチ式の石橋技術を応用しており、全国的にも大変珍しい貴重な文化財とされている。



凱旋門小型模型で説明する下鶴館長

。当時の山田村から従軍した陸軍八十八名、海軍二十五名の帰還を祝して、明治三十九年に山田村兵事会が建立したものであり、上部にはめ込まれた石版の「凱旋門」の文字は、明治の元勲大久保利通の従弟で後の霧島神宮宮司を務めた大久保利貞の揮毫による。建立百周年の二〇〇五年に門の修復に携わった始良市歴史民俗資料館の下鶴弘館長によると、両側の門柱の上部には国旗掲揚のためのものとみられる穴が穿たれ、また、門中央上部には建立当時日本海軍で使われていた大砲の砲弾が据え付けられていたという。下鶴館長によれば、山田村凱旋門が石造りとなった理由としては、鹿児島では以前から河川へのアーチ型石橋の建造技術が発達していたことや、明治期の洋風建物建築の流れ、さらに、ヨーロッパなどで大きな石造りのゲートを作って戦勝を祝う風習を取り入れたことなど、近代化のいろいろな要素が複合したのではないかと、明治三十九年、山田村からの従軍者たちが誇らしげに胸を張りつつこの門をくぐり、長き臥薪嘗胆の日々を耐え忍んで喜びを爆発させる村人たちの熱烈な凱旋祝いを受けた情景が目につく。



山田の凱旋門

「日韓をつなぐ韓国桜」

〔韓国桜の堤防〕

始良市内で海外ゆかりの場所をもう一つ紹介する。江戸時代の武家屋敷が現代に残る蒲生町。支所近くの前郷川堤防に百本近い桜が育ち、桜の時期には家族連れなどが訪れている。三十年以上にわたる韓国との交流の中で、十周年と二十周年の記念として韓国側から贈られた桜だ。「韓国桜」と呼び、地元地域おこしグループのおかべ会などが中心となって毎年五、六回程度、草刈りや手入れをして友好の証として大切に育てている。

〔日韓の民間交流再開の嚆矢〕

交流の歴史は一九八六年まで遡る。外国人の民泊を行う「からも交流」で、蒲生に韓国の学生を受け入れたのがスタート。翌年、地元の太鼓グループである蒲生郷太鼓坊主のメンバー三人が韓国での演奏交渉に渡韓するが、当時日本文化拒否の中で交渉は難航。絶望の気持ちで歩いた夜のソウルで美しく咲く夜桜に思わず目を見張ったという。その姿に勇気づけられて、粘り強く交渉し、一年後の一九八八年にようやく韓国での太鼓公演が実現する。このとき、韓国側で協力者となってくれた韓国中央大学校黄聖圭教授から「一九四五年八月以来最初の民間レベルの文芸分野における日韓交流である」との絶賛の言葉をもらい、さらに勇気づけられる。

〔直流から交流へ〕

その後、蒲生の秋まつりに韓国から芸術団（伝統芸能専攻の学生）を招くことが続くうち、秋祭りの交流だけでなく、春祭りの交流の場も作りたい。との思いから、あのソウルで見た桜を交流のシンボルとするため、十周年の一九九六年と二十周年の二〇〇六年に、それぞれ韓国側から桜の苗木の寄贈を受け、前郷川堤防や他の町内各所に植樹した。同時に、韓国からの受入だけではなく蒲生からも韓国を訪問する「直流から交流へ」への一声で、一九九七年から子供たちをソウルに送る「ふれあう旅 韓国」を始めた。桜の木々の間には、二〇一六年に交流三十周年の記念として、韓国の国花であるムクゲも両国の子供たちが一緒に植えた。初夏から秋まで、白やピンクの花が咲き、楽しめるという。



前郷川桜

〔成長と再会〕

「ここは交流で知り合った韓国の友人たちとの再会の場所。秋まつりで蒲生を訪れた嘗ての子供たちが成長してここに帰ってきて蒲生の人たちと一緒に写真を撮る。その姿を見ると、三十年の間には苦勞や困難もいっぱいあったけど、苗木だった桜やムクゲが大きく育ち、満開の花を咲かせるように、私たちの交流も大きく美しく広がってきていると強く確信できる。」交流の初期から橋渡しを続けている中野まなみさんは、そう話しながら青空に映える桜の木々を見上げた。



始良市歴史民俗資料館
始良市東餅田四九八番地
電話 (0995) 65-1553



世界各地で活躍する鹿児島ゆかりの方からの便りです

世界あちこち便り

こんにちは。私は2012年から韓国の全羅北道で道と海外の自治体間の交流を担当しているソン・ヒョウォンと申します。今回両地域間の交流及び全北について紹介することができ、とても嬉しく思っております。このような機会をいただきありがとうございます。

(鹿児島県との縁)

鹿児島県との縁は、私が全羅北道で勤務するようになってから始まりました。2012年、全羅北道国際協力課で日本との交流業務を担当することになり、初めて鹿児島県を訪問しました。

全羅北道と鹿児島県は1989年に両地域の間友好協力推進に関する共同宣言文に署名して以来、行政、青少年、文化、民間など様々な分野において交流を進めてきました。

鹿児島県は全羅北道が初めて海外の自治体と協力を締結した地域で、道の地方外交で最も重要な地域です。

(全羅北道)

全北特別自治道(※)は韓国南西部に位置していて、人口は約175万人、14の市・郡で構成されています。全羅北道を一つの文章で紹介すると、『伝統と未来が共存する所』と申し上げたいです。というの

はまず韓国の伝統文化がよく保存・継承された地域です。鹿児島県の皆さんもよくご存知の「ビビンバ」の発祥の地が全羅北道ですが、食べ物だけでなく、伝統音楽、韓紙、伝統家屋など伝統文化地域のあちこちでみることができるので最も韓国的な味と趣きの都市と呼ばれています。また伝統的に農業が盛んな地域の特徴を活かし、スマートファーム農生命革新バレー、国家食品クラスターの造成や二次電池特化団地などの未来新産業が道の主な産業です。

(※) 2024年1月18日、128年の歴史を持つ全羅北道が全北特別自治道に生まれ変わりました。今後、全北特別自治道と鹿児島県の間で、より多くの交流が交わされることを期待します。

(現在活動)

私は全北特別自治道の対外協力課で国際協力の業務を担当しています。全北道は日本の鹿児島県をはじめ、現在、7か国13地域(※)と行政、青少年、文化、産業、民間などの分野の交流を進めています。

※ 日本(鹿児島県、石川県)、アメリカ(ワシントン州、ニュージャージー州)、中国(江蘇省、上海市、雲南省、山東

省)、ベトナム(ダクラク省、カマウ省)、インドネシア(西部スマトラ州)、カザフスタン(アルマトイ州)など

海外の自治体との交流協力のほか、国際開発協力事業、公共外交、国際機関との協力業務など、主に外国との業務を担当しています。

(鹿児島県との思い出)

鹿児島県への初出張の時、空港から移動中、桜島でボンと白い綿雲のような噴火があり、興奮して慌てる我々出張団と、ただ日常だと語りかけていた県庁職員の姿が、まるで漫画の一場面のように浮かびます。

圧倒的な存在感の桜島と仙巖園の美しい風景、作品に込めた想いを考えると、肅然とまで感じさせる切子工芸、全羅北道と鹿児島県との縁を改めて考えさせる沈壽官陶芸館、そして私が一番好きな鹿児島の食べ物(^^)

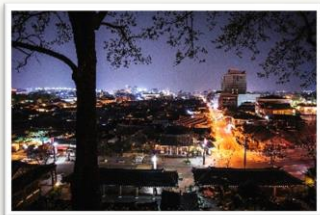
約10年間、鹿児島県と交流を進めながら出会った、思い浮かべるたびに心温まる私の味方になりそうな鹿児島県の人々、私にとって鹿児島県はいつも懐かしいところです。

また、私がこの職業を持つようになったきっかけ、すなわち日本語を学ぶようになった理由の一つが宮崎駿監督のものけ姫です。いつからか新年計画の上位にあるのがそのもののけ姫の屋久島に必ず行くこと!!です。

今まではいつも業務スケジュールをいっぱい詰め込んだ出張で鹿児島県を訪問しているのですが、いつかは時間を作って新しい思い出をたくさん作りたいと思います。



2017年鹿児島ビビンバ



全州韓屋村の夜景



鹿児島県との30周年写真

JEON BUK

全北特別自治道のロゴ

宋 孝源 (ソン・ヒョウォン) 韓国全北特別自治道在住



全北特別自治道 教育疎通協力局
対外協力課 国際協力チーム長

2011年から全北と鹿児島県の交流
担当。現在、全北の海外交流チーム長

きばいが！伊佐

伊佐市

◆きばいが！伊佐とはどのような団体ですか？

当会は2022年10月に設立しました。青春時代を伊佐市(旧大口市、菱刈町)で過ごした仲間が集い「何か伊佐の役に立つ事はないか…」そんな愚直な思いからです。今後は伊佐の未来を担う若者達と合流したいと考えています。



◆どんな活動をしていますか？また、県民の方とはどのように関わることができますか？

日本に興味を持つ若者を世界各地から集め、日本各地をホームステイしながら市民レベルで交流を深める学習ツアーを主催するNPO「ワールドキャンパスインターナショナル」と共催し、今年度6月に「チャレンジしよう！国際交流 in 伊佐」を開催いたしました。伊佐市及び周辺の家賃にホームステイをしながら、市内の企業や団体などに協力いただき、色々な体験を通して地域と交流を深めました。また、「市民にも元気を!!」と題して、現役で活躍する往年のラグビー選手が伊佐に集い、「第1回伊佐ラグビー交流試合2023」を開催しました。どちらも今後は毎年開催を予定しています。

◆県民の方へメッセージをお願いします。

伊佐市は鹿児島県の北海道として知られています。豊かな森林から湧き出る美味しい水から作られる「伊佐米」「金山ネギ」などの農作物は勿論、「伊佐焼酎」も有名です。焼酎に関する日本最古の文章が残る「郡山八幡神社」、東洋のナイヤガラ「曾木の滝」、世界有数の金鉱「菱刈鉱山」、日本有数の「星空の街」と多くの興味を持てる街です。どうぞお越してください。



「市民活動団体 きばいが！伊佐」（代表 前田千弘様）

お問合せ先（事務局 大丸様）

TEL: 080-5407-0241 Email: tasukaruwin2@icloud.com

Facebook



かごしまの 国際交流団体紹介



鹿児島県アジア・太平洋農研修センター

鹿屋市

◆鹿児島県アジア・太平洋農村研修センターとはどのような団体ですか？

鹿児島県の施設で国際交流・国際協力の拠点として1994年に開設されました。

JICA 海外協力隊 OB の団体によって管理運営されています。

◆どんな活動をしていますか？

また、県民の方はどのように関わることができますか？

- ・外国人研修生の受入れ
- ・国際交流イベント
- ・研修会の開催
- ・国際理解、SDGs プログラム実施
- ・地域おこし

様々なイベントやプログラム、また外国人研修生のホームステイ受入れなどを通し、国際交流・国際協力を身近に体験していただけます。

◆県民の方へメッセージをお願いします。

国際交流・国際協力という分野は敷居が高く感じられる方々もいらっしゃると思いますが、当センターでは目的や対象年齢に応じてアレンジができますので、お気軽にご訪問ご相談ください。



鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター

〒893-0131 鹿屋市上高隈町 3811-1

TEL: 0994-45-3288

HP



Facebook



Instagram



《イベント情報》

開発途上国で活動する JICA 海外協力隊、国内で活動する地域おこし協力隊。

2つの協力隊がコラボした「協力隊まつり かごしま 2024」の開催が決定しました！

庭師でタレントの村雨辰剛さんによる講演会、世界を食べつくす味めぐりフェスタ、県内各地の地域おこし協力隊員による物産展など、盛りだくさんの内容となっております。グローバルとローカルを同時に感じることでできるイベントとなっておりますので、どうぞお気軽にお越しください！

イベントの詳細、最新情報はHPをご確認ください！

協力隊まつりかごしま



JICA海外協力隊with地域おこし協力隊コラボレーション企画

協力隊まつり かごしま 2024

2024.3.17(日)

場所：アジア・太平洋農村研修村
鹿屋市上高隈町3811-1
10:00~16:00 (大隅湖畔)

主催：青年海外協力隊 OB 会、鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター
共催：鹿児島県国際交流センター、鹿屋市民族館、(特非)九州海外協力協会
後援：鹿児島県、鹿屋市、JICA デスク鹿児島、第一幼児教育短期大学

※当日は混雑が予想されます。
大隅湖畔駐車場が満車の場合は、高隈地区交流促進センターの駐車場をご利用ください。当日は、シャトルバスを運行いたします。

【問合せ先】
協力隊まつり実行委員会
TEL:099-295-6355
もしくは、
TEL:0994-45-3328

入場無料

JICA デスク鹿児島 担当:飯屋 TEL:099-221-6624 (公財)鹿児島県国際交流協会内



がいこくじんそうごうそうだんまどぐち 外国人総合相談窓口

かごしま す がいこくじん かた そうだんまどぐち
鹿児島にお住まいの外国人の方のための相談窓口です。生活、在留資格、労働、医療、福祉などで困ったことがありましたら、お気軽にご相談ください。

対応言語：日本語/英語/中国語/韓国語/ベトナム語/タガログ語/インドネシア語/ネパール語/クメール語/タイ語/ミャンマー語/ポルトガル語/スペイン語/マレー語/フランス語/ロシア語/ドイツ語/イタリア語/モンゴル語/シンハラ語/ヒンディー語/ベンガル語/ウクライナ語

鹿児島県国際交流協会内
TEL: 070-7662-4541
E-mail: kiasoudan@gmail.com



アクセスマップ



← 天文館方面 霧島方面 →

本誌・掲載内容に関する問合せ・申込み先

公益財団法人鹿児島県国際交流協会
(火曜～日曜 9:00～17:00)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50
かごしま県民交流センター1階
Tel: 099-221-6620 Fax: 099-221-6643
URL: <https://www.kiaweb.or.jp/>
Email: kia@kiaweb.or.jp
Facebook: <https://www.facebook.com/Kagoshima.Intl.Assoc>

「国際交流ひろば」は、ホームページにも掲載しています。ご自由にダウンロードしてください。